

日本史

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は13ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認してください。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があつてから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

日 本 史

(60分 100点)

I 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

桓武天皇のあとを継いだ平城天皇は、弟の嵯峨天皇へ譲位後、藤原薬子らと謀り再び権力を握ろうとしたが、失敗に終わった。この平城太上天皇の変(薬子の変)^(A)の頃には、嵯峨天皇は蔵人所や などの令外官を設け、藤原冬嗣らを蔵人頭に任じて側近とする一方で、家柄にかかわらず広く人材を登用した。また法制の整備も進め、 が編纂された。嵯峨天皇は、譲位後も権力を保持し、安定的な政治が行われた。しかし、嵯峨天皇没後、冬嗣の外孫の道康親王(のちの文徳天皇)が皇太子になると、冬嗣の子良房が力をつけ、娘明子を皇太子の妃とした。858年、孫の がわずか9歳で即位すると、良房は外祖父として天皇の権限を代行し、866年の^(E)応天門の変ののち正式に摂政となった。

良房のあとを継いだ養子基経は、884年に光孝天皇の即位にともない関白に任じられ、888年には宇多天皇の即位にあたって出された勅書を撤回させ、天皇の政務を補佐・後見するという関白の政治的地位を確定させた。

基経の死後、宇多天皇は学者出身の を登用し藤原氏と対抗させた。しかし、醍醐天皇即位後の901年、基経の子藤原時平の陰謀で は大宰府に左遷された。その後、時平の弟忠平が摂政・関白をつとめた^(G)朱雀天皇の時代を挟んで、10世紀前半の醍醐・村上天皇の時代には摂政・関白がおかれ^(H)ない期間があったが、村上天皇の死後、969年に源高明が失脚した の結果、忠平の子孫が天皇の外戚の地位を独占し、摂政・関白となり政治の実権を掌握する、いわゆる^(J)摂関政治が約100年間続いた。

問1 下線部藤原薬子の出身として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 京家 ② 式家 ③ 南家 ④ 近衛家 ⑤ 北家

問2 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 押領使 ② 勘解由使 ③ 検非違使 ④ 征夷大將軍 ⑤ 追捕使

問3 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 延喜格式 ② 弘仁格式 ③ 貞観格式 ④ 令義解 ⑤ 令集解

問4 空欄 に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 淳和天皇 ② 清和天皇 ③ 仁明天皇 ④ 陽成天皇 ⑤ 冷泉天皇

問5 下線部^(E)応天門の変に関する事柄として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① この事件は、藤原氏北家による他氏排斥事件の最初のものである。
② 藤原良房の失脚をねらって、伴善男が応天門に火をつけたとされる。
③ このときの応天門炎上の様子が『伴大納言絵巻』に描かれている。
④ この事件により、伴氏と橘氏の勢力は減退した。
⑤ この事件に連座して、恒貞親王は皇太子を廃された。

問6 空欄 に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 菅野真道 ② 菅原道真 ③ 大江匡房
④ 南淵請安 ⑤ 和氣清麻呂

問7 下線部藤原時平のその時の役職として適当なものを，次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 太政大臣 ② 左大臣 ③ 右大臣 ④ 大納言 ⑤ 中納言

問8 下線部朱雀天皇の時代に西国で反乱をおこしたもと伊予国司として適当なものを，次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 平貞盛 ② 平将門 ③ 藤原純友 ④ 藤原秀郷 ⑤ 源経基

問9 空欄 に入る語句として適当なものを，次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 安和の変 ② 乙巳の変 ③ 承久の乱 ④ 正中の変 ⑤ 壬申の乱

問10 下線部摂関政治が約100年間続いたことに関する事柄として適当なものを，次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 官吏任免権に深くかかわっていた摂関家に，荘園の寄進が集中した。
② 後一条天皇の外祖父である藤原道長が関白となった。
③ この間，藤原氏は氏長者のもとに団結し，一族内の争いはほとんどなかった。
④ 藤原頼通は後朱雀・後冷泉天皇の外祖父として摂政についた。
⑤ 藤原実資の日記である『御堂関白記』には，この時期の政治や社会の様子が記されている。

Ⅱ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(30点)

武力での天下統一をめざした織田信長は、1568年に足利義昭^(A)を立てて入京し、義昭を将軍職につけることで全国統一の足掛かりとした。しかし、義昭は次第に信長への反発を強め、浅井・朝倉氏と結び、信長からの自立を図るようになった。これに対し、信長は1570年に姉川の戦いで浅井・朝倉の連合軍を破り、翌年には浅井・朝倉氏に味方した を焼打ちし、1573年には義昭を京都から追放した。1576年には交通の要衝である近江に安土城を築き、そこを拠点に全国統一を進めた。信長は、自治都市として繁栄していた堺や大津を直轄地とし、安土城下で^(D)楽市^(C)金を出し、畿内の関所を撤廃するなど、伝統にとらわれない施策を次々と実施した。

信長は、1580年に長年敵対してきた石山本願寺を屈伏させ、1582年に天目山の戦いで武田氏を滅ぼすなど、統一事業^(E)を完成しつつあったが、同年の毛利氏征討の途中滞在した京都本能寺で家臣の明智光秀の反乱にあって倒れた。

信長のあとを継いで全国統一を完成させたのは、信長の家臣の豊臣秀吉であった。毛利軍と対戦中の秀吉は、本能寺の変を知り、ただちに毛利軍と和睦し、軍を返して山崎の合戦で明智光秀を倒した。翌年には対立した信長の重臣 を賤ヶ岳の戦いで破り後継者としての地位を固め、石山本願寺のあと地に大坂城を築いた。

1585年、秀吉は朝廷から関白に任じられ、翌年には太政大臣になり豊臣の姓を与えられた。また、朝廷の権威を背景に を出して、全国の戦国大名たちに戦闘の停止を命じ、領土の確定は秀吉が行うことを宣言した。これに従おうとしない九州の島津義久を攻めて降伏させ、1590年には関東に出兵し、小田原の北条氏政を滅亡させた。さらに、伊達政宗ら東北の諸大名も服従したことから、ここに天下統一が完成した。

豊臣政権の経済的基盤は約220万石におよぶ (直轄地) にあり、佐渡・石見大森・但馬生野などの主要な鉱山も直轄にして、 などの貨幣を鑄造した。また、京都・大坂・堺・伏見・長崎などの重要都市も直轄地とし豪商を統制下においた。さらに秀吉は、いわゆる^(J)太閤検地を行うとともに兵農分離政策を実施した。

問1 下線部足利義昭は室町幕府何代将軍になったのか。適当なものを、次の①～^(A)⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 11代 ② 12代 ③ 13代 ④ 14代 ⑤ 15代

問2 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 延暦寺 ② 教王護国寺（東寺） ③ 興福寺
④ 金剛峰寺 ⑤ 室生寺

問3 下線部堺の豪商出身でのちに秀吉に切腹を命じられた人物として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 今井宗久 ② 神谷宗湛 ③ 小西隆佐
④ 島井宗室 ⑤ 千利休

問4 下線部楽市令に関する説明として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 座の特権を認め、座役・座の雑税をことごとく免除した。
② 領国内で徳政を実施した際には城下の商人にも適用するよう要求した。
③ 先に城下に居を構えた商人に商売上の優先権が与えられた。
④ 信長の家臣のみが商人たちに臨時の課役を課すことが許された。
⑤ この制度は市や座を収入源としていた寺社・貴族などに打撃を与えた。

問5 下線部石山本願寺の宗派として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選び
マークしなさい。^(E)

- ① 浄土宗 ② 浄土真宗 ③ 曹洞宗
④ 日蓮宗 ⑤ 臨済宗

問6 空欄 に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選
びマークしなさい。

- ① 織田信雄 ② 小早川隆景 ③ 柴田勝家 ④ 前田利家 ⑤ 上杉景勝

問7 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選
びマークしなさい。

- ① 一国一城令 ② 武家諸法度 ③ 惣無事令
④ 人掃令 ⑤ 海賊取締令

問8 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選
びマークしなさい。

- ① 蔵入地 ② 国衙領 ③ 御料所 ④ 知行地 ⑤ 天領

問9 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選
びマークしなさい。

- ① 慶長大判 ② 元禄大判 ③ 正徳小判 ④ 天正大判 ⑤ 万延小判

問10 下線部太閤検地に関する説明として適当なものを，次の①～⑤の中から1つ
(J)
選びマークしなさい。

20

- ① 太閤検地では所有者と耕作者が分離され，その両方が検地帳に記載された。
- ② 太閤検地により，全国が同じ基準の貫高で把握された。
- ③ 太閤検地は6尺3寸四方を1歩，30歩を1畝，10畝を1段に統一した。
- ④ 太閤検地は，領主に土地の面積や収穫高を自己申告させる指出検地であった。
- ⑤ 太閤検地により，不統一であった柵の大きさが宣旨柵に統一された。

Ⅲ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(30点)

明治新政府は旧幕府から接収した地域を直轄地としたが、それ以外は諸藩の大名が統治する体制が存続しているなど、政府の基盤は非常に弱かった。1869年、中央集権化をめざす政府は各藩主に を行わせ、旧大名には家禄を支給した。しかし、中央集権化は進まず、各地で一揆や反乱がおき政情不安が高まった。

こうした中、1871年に新政府は政府直属の御親兵^(B)で中央を固めた上で大久保利通・木戸孝允らが中心となり^(C)廢藩置県を断行し、地方長官として中央から を派遣した。同時に、中央政府の官制は三院制となり、 の下に各省をおく制度に改革された。また、軍事制度の中央集権化・近代化も進められ、1873年には国民皆兵を原則とする徴兵制^(F)がしかれた。警察制度も整備され、1873年に新設された が全国の警察組織を統轄し、翌年には東京に警視庁が設置された。

また、政府は財政基盤を固めるために土地制度と税制の改革を行った。1871年に田畑勝手作りを許可し、翌年には田畑永代売買の禁令を解除した。さらに、地価を定めて土地所有者に地券を交付し、土地所有権を認めた上で、1873年には、地租改正条例を公布して、土地所有者に地租^(H)を貨幣で納税する義務を負わせた。

政府は中央集権化を図るとともに、封建的諸制度を廃止していった。政府は身分制度を廃止し、藩主と上層の公家らを華族、藩士・旧幕臣を士族、足軽以下の武士を卒、百姓・町人をすべて平民とした。平民は苗字が許され、華族・士族との結婚や、移住・職業選択の自由^(I)も認められた。

政府は、華族・士族、明治維新の功労者に秩禄を与えており、これが財政を大きく圧迫していた。そこで、政府は1873年に希望者に秩禄の支給を止めるかわりに一時金を支給することを定めて秩禄の整理を行い、1876年には残った秩禄受給者に を交付して秩禄の支給を打ち切った。

問1 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 王政復古 ② 大政奉還 ③ 宗門改め ④ 版籍奉還 ⑤ 本領安堵

問2 下線部御親兵^(B)として兵士を出した藩の組み合わせとして適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 22

- ① 薩摩・長州・土佐 ② 薩摩・長州・肥前 ③ 長州・土佐・肥前
④ 薩摩・土佐・肥前 ⑤ 薩摩・長州・水戸

問3 下線部廃藩置県^(C)に関する説明として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 23

- ① 琉球藩を含むすべての藩が一挙に廃止された。
② 旧藩主は免職されたが、華族としての身分が保証され、旧藩の領地での居住が認められた。
③ 廃藩置県に対して佐賀の乱をはじめ各地で暴動がおこったが鎮圧された。
④ 廃藩置県に際して江戸は東京と改められ、東京府となった。
⑤ 廃藩置県は政府から諸藩へ一方的に通告する形で行われた。

問4 空欄 D に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 24

- ① 開拓使 ② 知藩事 ③ 府知事・県令 ④ 元老 ⑤ 参与

問5 空欄 E に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 25

- ① 右院 ② 議政官 ③ 行政官 ④ 左院 ⑤ 正院

問6 下線部徴兵制の導入を立案したが、1869年に暗殺された人物として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 26

- ① 大村益次郎 ② 坂本竜馬 ③ 高杉晋作 ④ 山県有朋 ⑤ 横井小楠

問7 空欄 G に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 27

- ① 兵部省 ② 刑部省 ③ 司法省 ④ 内務省 ⑤ 民部省

問8 下線部地租は当初地価の何%であったか。適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 28

- ① 2.5% ② 3% ③ 3.5% ④ 4% ⑤ 4.5%

問9 下線部平民の全人口に対する比率は1873年には何%程度だったか。適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 29

- ① 80%未満 ② 80～85% ③ 85～90% ④ 90～95% ⑤ 95%以上

問10 空欄 J に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 30

- ① 金禄公債証書 ② 日本銀行兌換銀券 ③ 太政官札
④ 秩禄公債 ⑤ 民部省札

Ⅳ 次の表について、以下の設問に答えなさい。(20点)

[文化・文政時代の主な文学作品]

種類	作者など	作品など
洒落本	(B) <u>山東京伝</u>	『仕懸文庫』
黄表紙	C	『金々先生栄花夢』
滑稽本	D 十返舎一九	『浮世風呂』, 『浮世床』 『 F 』
(A) <u>合巻</u>	柳亭種彦	『修紫田舎源氏』
人情本	為永春水	(G) 『春色梅児誉美』
読本	E 曲亭馬琴	『雨月物語』 『南総里見八犬伝』, 『 H 』
俳諧	蕪村 一茶	『蕪村七部集』 『おらが春』
川柳	柄井川柳ら撰	『誹風柳多留』
脚本	竹田出雲 (二世) 近松半二 鶴屋南北	『 I 』 (J) 『本朝廿四孝』 『東海道四谷怪談』

問1 下線部合巻に関する説明として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選び
(A) マークしなさい。

- ① 赤本・黒本・青本のよいところだけを取り込んでつくられた小説である。
- ② 黄表紙を数冊綴じ合わせた絵入りの小説である。
- ③ 古典のあらすじをまとめて仕上げた編集物である。
- ④ 洒落本、滑稽本などの性格をあわせてつくられた小説である。
- ⑤ 町人の恋愛を主たる題材としてとりあげた読み物である。

問2 下線部山東京伝が処罰されたときの老中として適当なものを、次の①～⑤の
(B) 中から1つ選びマークしなさい。

- ① 田沼意次 ② 松平定信 ③ 阿部正弘 ④ 水野忠邦 ⑤ 松平信綱

問3 空欄 ～ に入る人名として適当なものを、次の①～⑧の
中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。

- - -

- ① 石川雅望 ② 井原西鶴 ③ 上田秋成 ④ 大田南畝
- ⑤ 恋川春町 ⑥ 式亭三馬 ⑦ 菅江真澄 ⑧ 鈴木牧之

問4 空欄 ・ ・ に入る語句として適当なものを、次
の①～⑧の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。

- - -

- ① 奥の細道 ② 好色五人女 ③ 国性（姓）爺合戦
- ④ 仮名手本忠臣蔵 ⑤ 世間胸算用 ⑥ 曾根崎心中
- ⑦ 椿説弓張月 ⑧ 東海道中膝栗毛

問5 下線部『春色梅児誉美』が発禁となったときの政治改革として適切なものを、
次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 39

- ① 安政の改革 ② 寛政の改革 ③ 享保の改革
④ 天保の改革 ⑤ 文久の改革

問6 下線部『本朝廿四孝』はどのような芸能の脚本として書かれたものか。適当
なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 40

- ① 浄瑠璃 ② 狂言 ③ 猿楽 ④ 歌舞伎 ⑤ 能楽